

図書館員のひみつの本棚 第148回

今月は世界でも有名なほら話です。

『ほらふき男爵の冒険』

〈お勧め年齢〉

乳幼児—— 低学年—— 中学年☆☆ 高学年☆☆☆ 中学生☆☆
高校—— 一般——

(☆が多い年齢の子どもにお勧めです。)

〈本の紹介〉

18世紀に実在したミュンヒハウゼン男爵が語ったほら話の数々。

たった一発の弾丸で10羽以上の鳥を仕留めた話や、ロシアでクマに襲われた際、地面に落としてしまったナイフを木の上からおしっこで拾い上げた話、^{まがいこつ}頭蓋骨を半分持ちあげて頭からお酒を蒸発させる将軍の話など、奇想天外で愉快的な話ばかり。

「ふつうのお話では面白くない！」という人はぜひ読んでみてください！

〈子どもに手渡す時のポイント〉

ミュンヒハウゼン男爵の語った話は、本人が生きていた18世紀から、本人以外の人々によって、多種多様な内容で出版されてきたという長い歴史があります。日本でも、本によって少し内容が異なったり、現代の子向けの書き換えが行われていたり、様々な内容の本が出版されています。ミュンヒハウゼン男爵の奇想天外な愉快さを損なわず、読み手が読みやすいものを手渡してあげてください。今回は偕成社と集英社の書誌を以下に載せておきます。(書影左から順に)

○ミュンヒハウゼン 著／高橋 健二 訳 偕成社文庫 1983年 756円

○斉藤 洋文／はた こうしろう 絵 偕成社 2007年 1080円

○ピュルガー 編／石崎 洋司 訳／片浦 絵 集英社みらい文庫 2015年 756円

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

